関西自然保護機構会報

No.16

目　　次

巻頭言

自然保護とKONCの活性化を考える……千地万造……1

比良スキー場問題

比良山系の自然保護と比良スキー場拡張の問題点……栗林　実……3

比良山の地形と地質……立川正久……11

比良山の植物……村田　源……17

比良山系八雲ケ原の昆虫……南　尊演……25

子供のころの思い出……寺川庄蔵……31

比良のふもとに生まれ育って……高山一美……32

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

大台ケ原を訪ねて……立沢史郎……24

堺火力発電所環境緑地における鳥類の生息調査……山岸　哲……33

Nam Choanダム：タイの自然保護運動……神崎　護……41

淡水魚の保護　いくつかの現状把握といくつかの提起……森　誠一……47

大台ケ原森林の鹿に逢って思う……福渡七郎……51

会則……53

会務報告……55

1988年9月

関西自然保護機構

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization of Nature Conservation）

KONCはなんらかの形で，専門家として自然環境保護にかかわる人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイサリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会報・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力